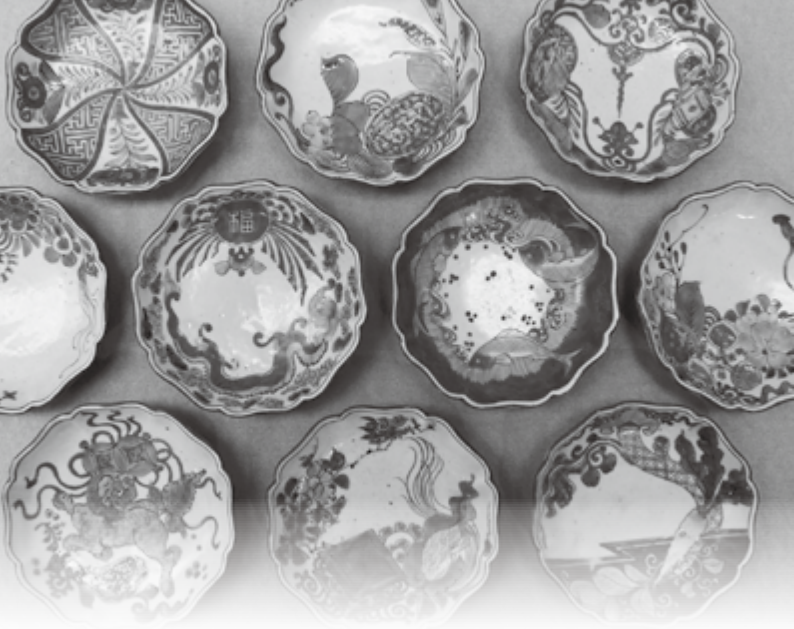




特集

未来へつなぐ小松文化

KOMATSU JAPAN

特集に関する問い合わせ

広報秘書課

☎24・8016

茶室「仙叟屋敷ならびに玄庵」



芦城公園の一角にたたずむ茶室「仙叟屋敷ならびに玄庵」は、仙叟の没後300年を記念して、平成9年に裏千家より寄贈されました。開庵20周年を迎える平成29年には、記念イベントが計画されています。

小松に息づく
和の心

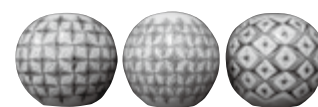
茶の湯



1652年、利常公が仙叟を茶堂茶具奉行として召し抱えたことから小松の茶の湯文化が始まりました。仙叟は利常公の家臣から町人まで広く茶の湯を教えました。現在も多くの人々が茶をたしなみ、そのもてなしの心が生活に溶け込んでいます。

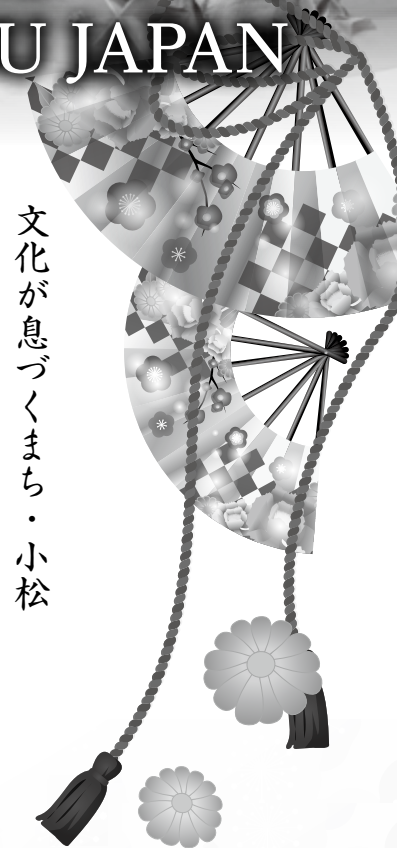
九谷焼

こまつ九谷
新たなステージへ



九谷焼の歴史は360年前までさかのぼります。先人達が切磋琢磨して磨き上げた技法は現代に受け継がれ、今も作家一人ひとりの創意工夫により浪漫あふれる作品が日々生まれています。

文化が息づくまち・小松
前田利常公の小松城入城を機に、様々な産業や文化の発展を遂げてきました。先人達が幾世にもわたり守り育んできた知恵や技は、地域の財産です。今回の特集では、小松文化を未来へつなぐ人々を紹介します。



加賀茶生産の元祖「長保屋」



茶の栽培を奨励した利常公。長保屋の初代が、金平と瀬領の茶畑で北陸で初めて茶の生産に成功したと伝えられています。これが「加賀茶」の始まりであり、小松は茶葉の一大生産地として加賀藩のお茶文化を支えました。

年

年齢に関係なく誰でもできるのが魅力の茶道。特に小さい時から慣れ親しむことが大切だと考えている岩谷さん。毎年開催している夏休み親子茶道教室は、子供達が茶道を体験できる機会として大切な取り組みです。



小松裏千家茶道会 岩谷宗美さん

誰

の作品が見て分かる、そんな作家の香りがする作品作りを心掛けています」と語る浅蔵さん。小松市の若手九谷焼作家を中心としたグループ「FRIT（フリット）」の代表



五十吉深香陶窯 浅蔵一華さん

▶小松裏千家茶道会の皆さん



り組みです。
また、昨年12月に開催した九谷焼・邦楽・茶道のコラボ企画「KUTAN I」で「一服」では、新しい顔ぶれもあつたようで「このような工夫を凝らした新しい試みが茶道に触れる一つのきっかけになるのだなと感じました。これから多くの市民の皆さんに茶に親しむ機会を提供していきたいです」と話してくれました。

表でもあります。作家同士のつながりを深めながら、固定概念にとらわれず、色々なやり方で九谷焼を盛り上げようとしています。現在は、FRITとスウェーデンの工芸デザイン協会が協働で新商品の開発を行い、海外への販路開拓など今後の九谷焼の新たな可能性を探っています。
「これだけ作家が集まっている地域は全国的にも珍しいんです。共に力を合わせ、ここにしかない価値を発信していきたいですね」と語ってくれました。

新春を祝う「天神堂」

かつて男の子が生まれると母方の実家から贈られた天神堂。神社の精巧なミニチュアで、年末から正月の間、床の間に飾り、健やかな成長と学業の上達を願いました。



お正月雑学

歌舞伎を支える人づくり 大人の歌舞伎教室「小松市民歌舞伎」

歌舞伎を未来へつなぐ担い手づくりの取り組みとして昨年開校した、大人の歌舞伎教室。プロの歌舞伎役者を講師に迎え、歌舞伎の所作などを本格的に学んでいます。和気あいあいとした雰囲気の中での稽古は、歌舞伎を身近な存在に感じさせてくれます。



一緒に歌舞伎の世界に触れてみませんか

坂下未宙さん(佐美町)

◆参加者募集中!!
お問い合わせは文化創造課
(☎24・8130)まで。



夫婦で参加している
山崎友次さん、栄子さん
(能美町)

小 学生のときに全国子供歌舞伎フェスティバルin小松で弁慶を演じた経験がある坂下さん。そのことをきっかけに歌舞伎や舞踊などの魅力を知り、また演じたいという気持ちを抱いていたとか。「大人の歌舞伎教室が出来たと知ってとてもうれしかったです。歌舞伎と言うと構える人もいるかもしれませんが、知れば知るほど面白いですよ」といきいきとした表情で話してくれました。



▶稽古に励む生徒の皆さん

先人に感謝！
そして未来へ！

ふるさとこまつ文化を支える源は、
今も昔も市民力と地域の絆。
オールこまつで
未来へつないでいきましよう。



三輪紗由さん(八幡)

250年の時を刻む小松の町衆文化の象徴 「曳山子供歌舞伎」



今年で250年の節目を迎える曳山子供歌舞伎。町衆文化と財力・心意気、そして職人の技などが結集し、江戸時代に龍助町と西町から始まりました。町衆の華、粋、人情、ふるさとの誇りを未来へ受け継いでいきます。



小さい時からいつか自分も舞台上で演じるものだ
と思っていました。皆さん
ぜひ見に来てください！

材木町の役者の皆さん

子 供歌舞伎の主役はもちろん子供達ですが、祭りを仕切るのは町の世話人達。長きにわたって曳山子供歌舞伎を支えてきたのは、小松の町衆です。



材木町実行委員
竹本真さん

西町実行委員
打田圭寛さん

今年の当番町である材木町の竹本さん、西町の打田さんは共に、20歳頃からずっと携わっているベテランです。
竹本さんは、自身も小学生のときに役者の経験があり、全てを知り尽くした頼れる存在。「今年は曳山250年の記念すべき年。例年より半年も早い時期から練習を始めています。皆さんに楽しんでもらうことはもちろん、自分も思い切り楽しみたいです」と笑顔で語ってくれました。
一方、打田さんは「今年の西町は振付や義太夫、三味線も全て地元小松の人で行う『オールこまつ』が売りです。西町から始まった曳山子供歌舞伎なので、誇りを持って町内を挙げて頑張ります」と頼もしく語ってくれました。

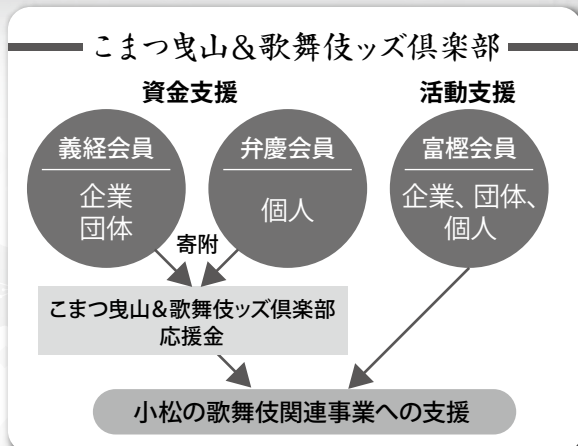
会員募集 こまつ曳山&歌舞伎倶楽部

「歌舞伎のまち小松」の伝統文化を守り受け継ぎ、全国や世界にPRするため「資金支援」と「活動支援」を通じて一緒に応援しませんか。

充実の会員特典

- ◆こまつ芸術劇場うららで開催の松竹大歌舞伎のチケット優先予約
- ◆全国子供歌舞伎フェスティバルin小松のチケット先行予約と自由席引換券の進呈
- ◆「歌舞伎のまち小松」自慢の品の進呈
- ◆会員対象イベントの招待

問い合わせ 文化創造課 ☎24・8130



塾生募集 こまつ歌舞伎未来塾

「歌舞伎のまち小松」の人材育成を目的として、4つの教室を開催しています。初心者も大歓迎。

- ①こまつ歌舞伎教室
役者と裏方(メイク、着付け)
 - ②こまつ邦楽教室
箏、三味線、長唄、鳴り物(笛、鼓など)
 - ③こまつ能楽教室
独特の謡と舞、囃子(能管、小鼓、大鼓、太鼓)
 - ④義太夫語りの会
力強い語り(義太夫と三味線)
- 対象 いずれも小学生以上
受講料 いずれも無料(教室により消耗品などの負担あり)
問い合わせ 文化創造課
☎24・8130